

2007年の夏ごろから、米国における低所得者向けの住宅ローン「サブプライムローン」の不良債権化の問題が世界の金融市場に波及し、日本、欧米、アジアの世界同時株安など、その影響は広範かつ深刻なものとなっています。「米国には家を追われるほどの低所得者がそんなに大勢いるのか」と、メディアの報道をみて大国の経済格差の深刻さに気づいた方も多いのではないでしょうか。

少し前に日本は「一億総中流」といわれていたように思いましたが、気がつくとも日本でも様々な分野で「格差」という言葉を耳にするようになりました。最近では、理学療法分野でも「格差」が議論されるようになってきています。理学療法の技術の格差や知識の格差を縮めて、できるだけ均質な理学療法サービスをクライアントに提供しようと、(社)日本理学療法士協会は生涯学習システムを全国に展開してきました。しかし、予想以上の新入会員数の急増により、そのシステムの効果以上に、理学療法士の技術や知識、生涯学習への意欲の格差が顕在化しており、専門分化しながら自律性を成長させる薬学分野や看護学分野の方式は、参考にする点が多いように思います。

視点を国外に向けてみても、日本の理学療法と世界の理学療法の格差は、様々な分野で認められるようです。今号の特集はWCPT(世界理学療法連盟)を取り上げましたが、日本は国民総生産世界第2位の経済大国であり、理学療法士数も世界有数にもかかわらず、日本の理学療法の自律性や学問体系、養成学校教育システムなどは、世界をリードするとはいえないようです。日本の理学療法でも世界をリードする分野や研究もあると思いますが、日本の理学療法士には開業権がない分だけ、理学療法士の徒手的な技術、医療経済に対する認識、政治的活動への認識、収入安定についての真剣さなどに世界の理学療法との格差を感じざるを得ません。自律性の問題は簡単には解決しない問題ですし、医療保険や介護保険に守られているという考え方もありますので、どちらがよいとは一概にいえませんが、確かに日本は世界でも特異的な理学療法システムを持っている国のようです。いずれにしても、内向きに悲観してばかりではどうしようもありません。理学療法士の数が日本ほど急速に増加している国はないのですから、しっかりと“内省”し、外を知ること、外から学ぶことで、保険以外の分野での活躍や新しい理学療法分野の開拓、そして最終的には自律性の獲得というような、次世代への展望が広がることも期待したいと思います。

本号では、WCPT関連記事以外にも、講座の「パーキンソン病症例の摂食・嚥下障害」、入門講座「バランストレーニングの基本」、1ページ講座「エンドフィール」が掲載され、どれもかゆいところに手が届く逸著で、必読の保存版になることでしょう。

平成20年度の診療報酬改定の骨格がほぼ固まり、リハビリテーション関連の情報も少しずつ具体的な部分がささやかれるようになりました。診療報酬点数の増減に関しては、われわれの期待とあまり格差が開かぬように願いたいところです。さて、4月は新しい出会いの季節です。読者の皆さんにとってもよい出会いがありますように。

(高橋哲也)

理学療法ジャーナル

(第42巻 第3号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

2008年3月15日発行(毎月1回15日発行)

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5704

定価 1,785 円(本体 1,700 円+税 5%)

(担当: 松田・吉永・鹿嶋・山崎)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

{ 2008 年年ぎめ予約購読料 20,880 円
(全 12 号、配送料弊社負担) }

ファクシミリ(03)3815-7802

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

振替口座 00170-9-96693 番

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ JICLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
福 屋 靖 子
横 山 巖

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
高 橋 哲 也
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
奈 良 勲
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 藤 義 広
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 峯 三 郎
岡 西 哲 夫
岡 本 慎 哉
金 谷 さとみ
小 塚 直 樹
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐々木 伸 一
佐 藤 秀 一
澤 田 三津子
関 屋 昇
高 口 光 子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
仲 貴 子
中 村 春 基
丹 羽 義 明
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
福 井 勉
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
諸 橋 勇
山 田 英 司
横 山 有 里